



魚鱗物語

三七四編

桂員豪

國貞畫

廣岡屋梓



遠
2502
6-4



源平
打毬

双六

ひびきの白と赤
のまじりて
あまのこを
そよていとく
わがらまを
まり

女郎花五色石臺

八編
九編

折下多種員作
一雄齋國老画

新編金瓶梅

初編
十編
八尾

曲亭馬琴作
一陽齋豊國画

黄金水久亭丞

七編
八編
出板

為永美水作
秋川國貞画

一猛齋芳虎画

三十六歌仙詠色双六

あまのこを
そよていとく
わがらまを
まり
古今よひに
ある双六あり

柳下亭種員作
兒雷也豪傑譚

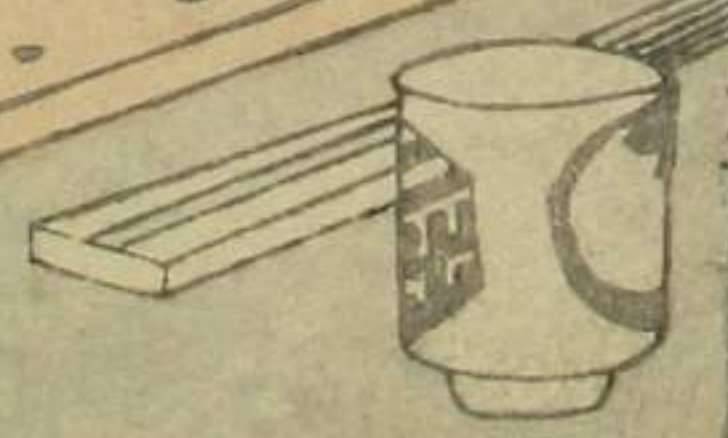
一壽齋國貞画

卅一編
卅二編
卅三編

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

一壽多國貞面
 柳水亭種法代
 已燭之 甘泉堂板

國貞面
 柳水亭種法代



世世世世
 皇皇皇皇
 世世世世
 皇皇皇皇



外題

七海

國貞

種清

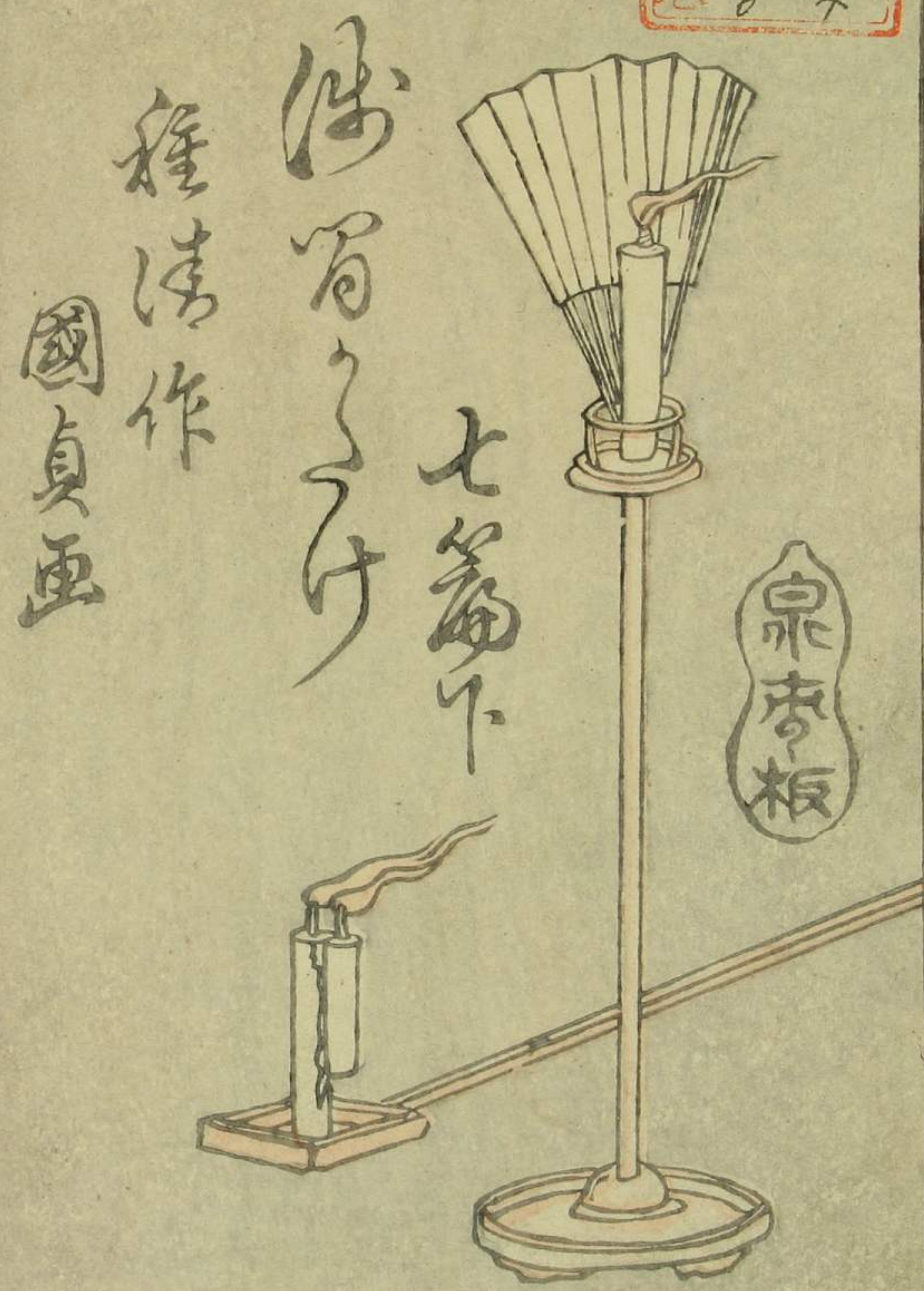
七海

泉市板

風俗

七海

遠
2502
卷 6-4



國貞画

物々々々 炭のゆも白く清くもあつても中よき雪と炭と雲泥あるふ 雙て合へ大乗觀火と水と 尅敵
 ありふ友とて宜い勺の功あり 仇へ解べし 結ぶるを
 新院を天狗ふ文も 菅家と雷神ふ筆怒まる 緯著作罪の
 大なる是ふ過ぐるる 然るも雷と天狗とをめて 萬口別て
 稱ふ至る 二君 齋院ふ歸縁と結ぶの徳成 浅間嶽も
 怪談多しんが 茲身を得てを登らさるるや 嶺の煙を清涼山
 の夢ふ結ぶら 螢火の水と中よきが如く 炭と雪とを比ふ
 時鳥と瞿麥の怨る中ふ似つれども 終る仇と解の期を得て
 無上道ふ住せん 炭も熱火とて 雪と明白あると能く
 魂も怨と現せし 得果の蓮明あつと 口脹らせて言侍る
 も 瞋懐とて 思さるる 冬夜ふ筆と呵さるるの

柳水亭種清

長門集一編

五七 一

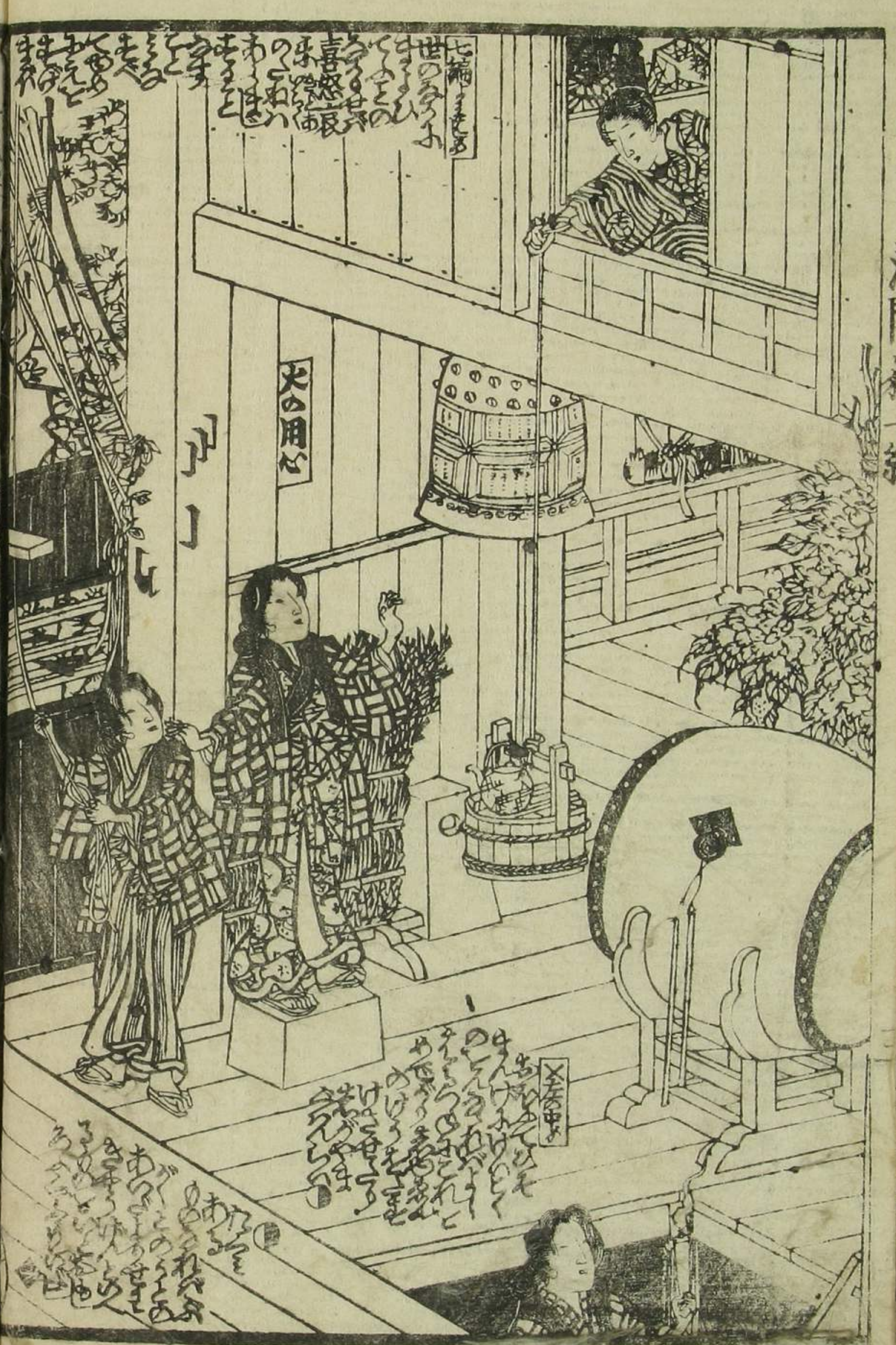
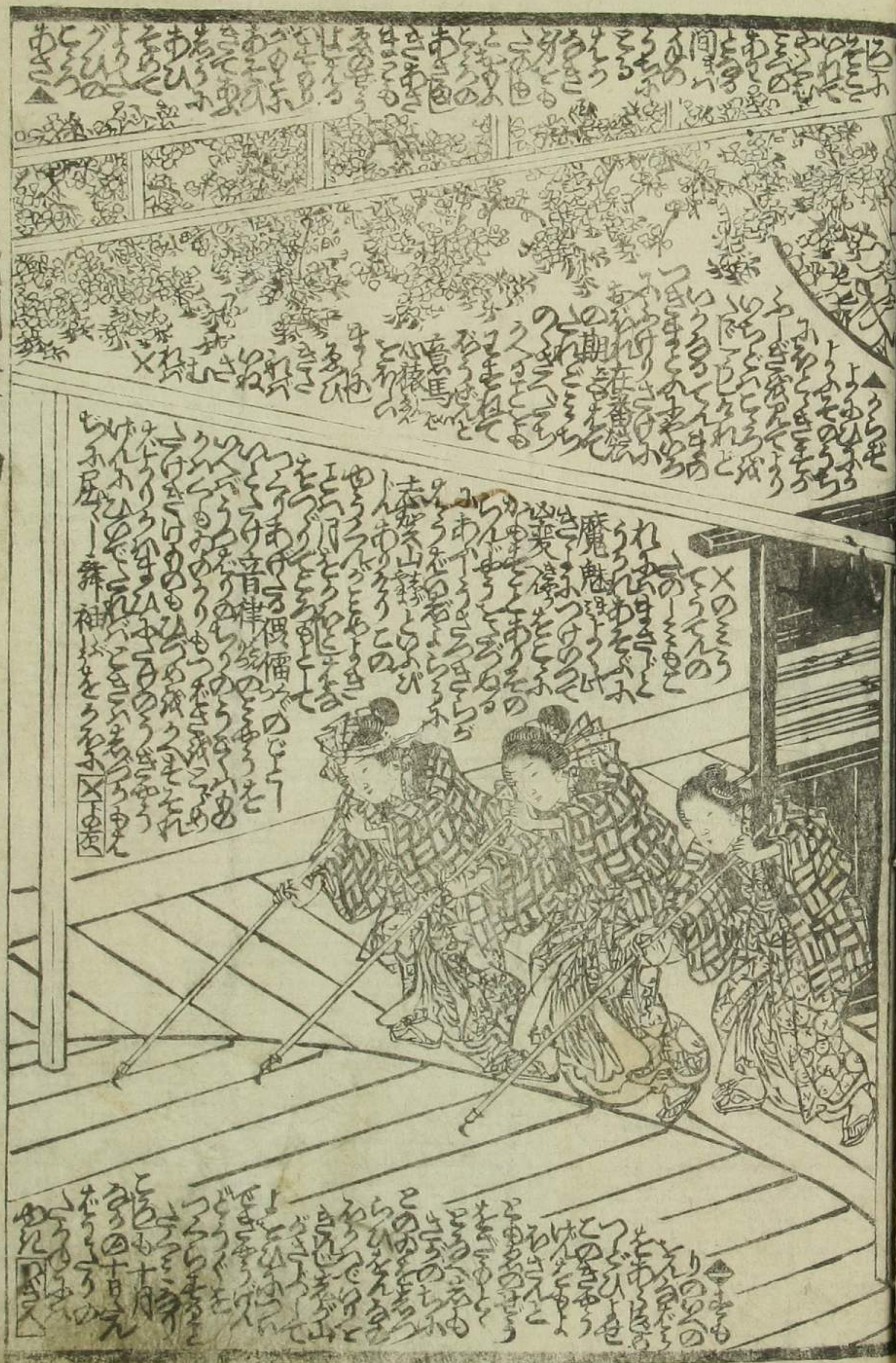


淺間巴之趣良治

五月第一

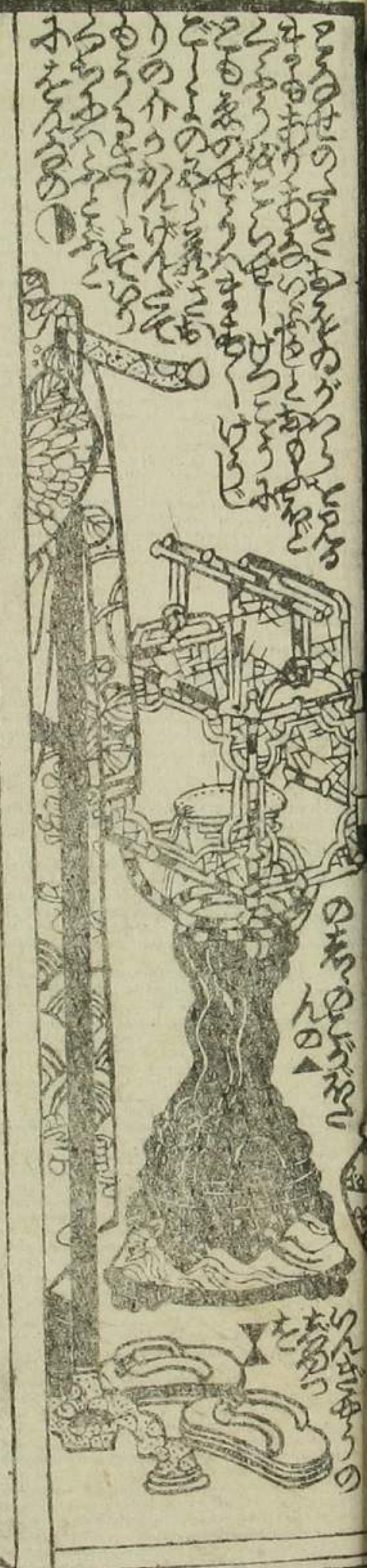
遊君志賀山太夫







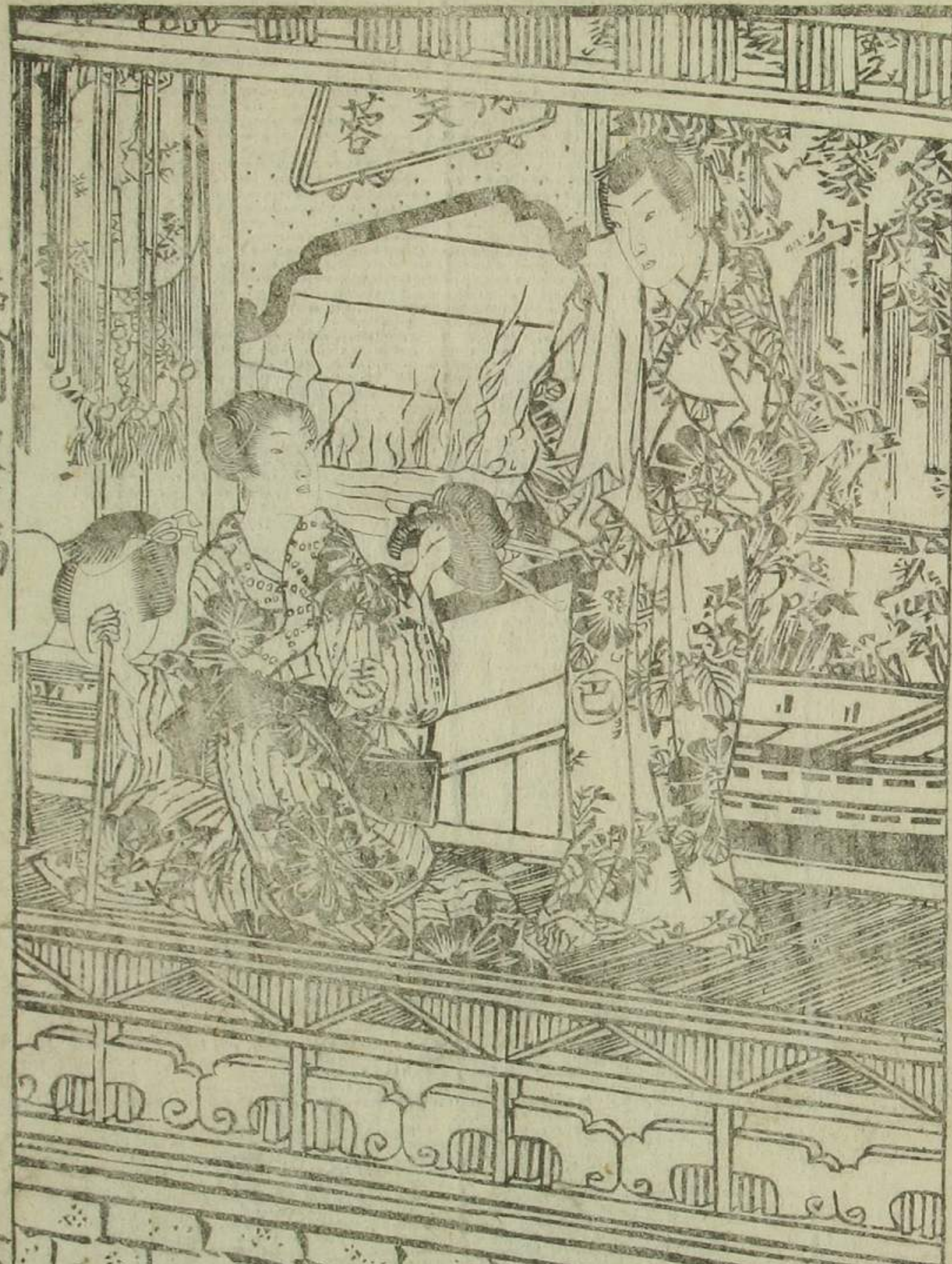
あつたてのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの



あつたてのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの



あつたてのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
あつたてのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの
まはりのうしろの



七段目 白川 一三番

一のまはか
 二のまはか
 三のまはか
 四のまはか
 五のまはか
 六のまはか
 七のまはか
 八のまはか
 九のまはか
 十のまはか
 十一のまはか
 十二のまはか
 十三のまはか
 十四のまはか
 十五のまはか
 十六のまはか
 十七のまはか
 十八のまはか
 十九のまはか
 二十のまはか
 二十一のまはか
 二十二のまはか
 二十三のまはか
 二十四のまはか
 二十五のまはか
 二十六のまはか
 二十七のまはか
 二十八のまはか
 二十九のまはか
 三十のまはか
 三十一のまはか
 三十二のまはか
 三十三のまはか
 三十四のまはか
 三十五のまはか
 三十六のまはか
 三十七のまはか
 三十八のまはか
 三十九のまはか
 四十のまはか
 四十一のまはか
 四十二のまはか
 四十三のまはか
 四十四のまはか
 四十五のまはか
 四十六のまはか
 四十七のまはか
 四十八のまはか
 四十九のまはか
 五十のまはか
 五十一のまはか
 五十二のまはか
 五十三のまはか
 五十四のまはか
 五十五のまはか
 五十六のまはか
 五十七のまはか
 五十八のまはか
 五十九のまはか
 六十のまはか
 六十一のまはか
 六十二のまはか
 六十三のまはか
 六十四のまはか
 六十五のまはか
 六十六のまはか
 六十七のまはか
 六十八のまはか
 六十九のまはか
 七十のまはか
 七十一のまはか
 七十二のまはか
 七十三のまはか
 七十四のまはか
 七十五のまはか
 七十六のまはか
 七十七のまはか
 七十八のまはか
 七十九のまはか
 八十のまはか
 八十一のまはか
 八十二のまはか
 八十三のまはか
 八十四のまはか
 八十五のまはか
 八十六のまはか
 八十七のまはか
 八十八のまはか
 八十九のまはか
 九十のまはか
 九十一のまはか
 九十二のまはか
 九十三のまはか
 九十四のまはか
 九十五のまはか
 九十六のまはか
 九十七のまはか
 九十八のまはか
 九十九のまはか
 百のまはか



江戸 一三番

一のまはか
 二のまはか
 三のまはか
 四のまはか
 五のまはか
 六のまはか
 七のまはか
 八のまはか
 九のまはか
 十のまはか
 十一のまはか
 十二のまはか
 十三のまはか
 十四のまはか
 十五のまはか
 十六のまはか
 十七のまはか
 十八のまはか
 十九のまはか
 二十のまはか
 二十一のまはか
 二十二のまはか
 二十三のまはか
 二十四のまはか
 二十五のまはか
 二十六のまはか
 二十七のまはか
 二十八のまはか
 二十九のまはか
 三十のまはか
 三十一のまはか
 三十二のまはか
 三十三のまはか
 三十四のまはか
 三十五のまはか
 三十六のまはか
 三十七のまはか
 三十八のまはか
 三十九のまはか
 四十のまはか
 四十一のまはか
 四十二のまはか
 四十三のまはか
 四十四のまはか
 四十五のまはか
 四十六のまはか
 四十七のまはか
 四十八のまはか
 四十九のまはか
 五十のまはか
 五十一のまはか
 五十二のまはか
 五十三のまはか
 五十四のまはか
 五十五のまはか
 五十六のまはか
 五十七のまはか
 五十八のまはか
 五十九のまはか
 六十のまはか
 六十一のまはか
 六十二のまはか
 六十三のまはか
 六十四のまはか
 六十五のまはか
 六十六のまはか
 六十七のまはか
 六十八のまはか
 六十九のまはか
 七十のまはか
 七十一のまはか
 七十二のまはか
 七十三のまはか
 七十四のまはか
 七十五のまはか
 七十六のまはか
 七十七のまはか
 七十八のまはか
 七十九のまはか
 八十のまはか
 八十一のまはか
 八十二のまはか
 八十三のまはか
 八十四のまはか
 八十五のまはか
 八十六のまはか
 八十七のまはか
 八十八のまはか
 八十九のまはか
 九十のまはか
 九十一のまはか
 九十二のまはか
 九十三のまはか
 九十四のまはか
 九十五のまはか
 九十六のまはか
 九十七のまはか
 九十八のまはか
 九十九のまはか
 百のまはか



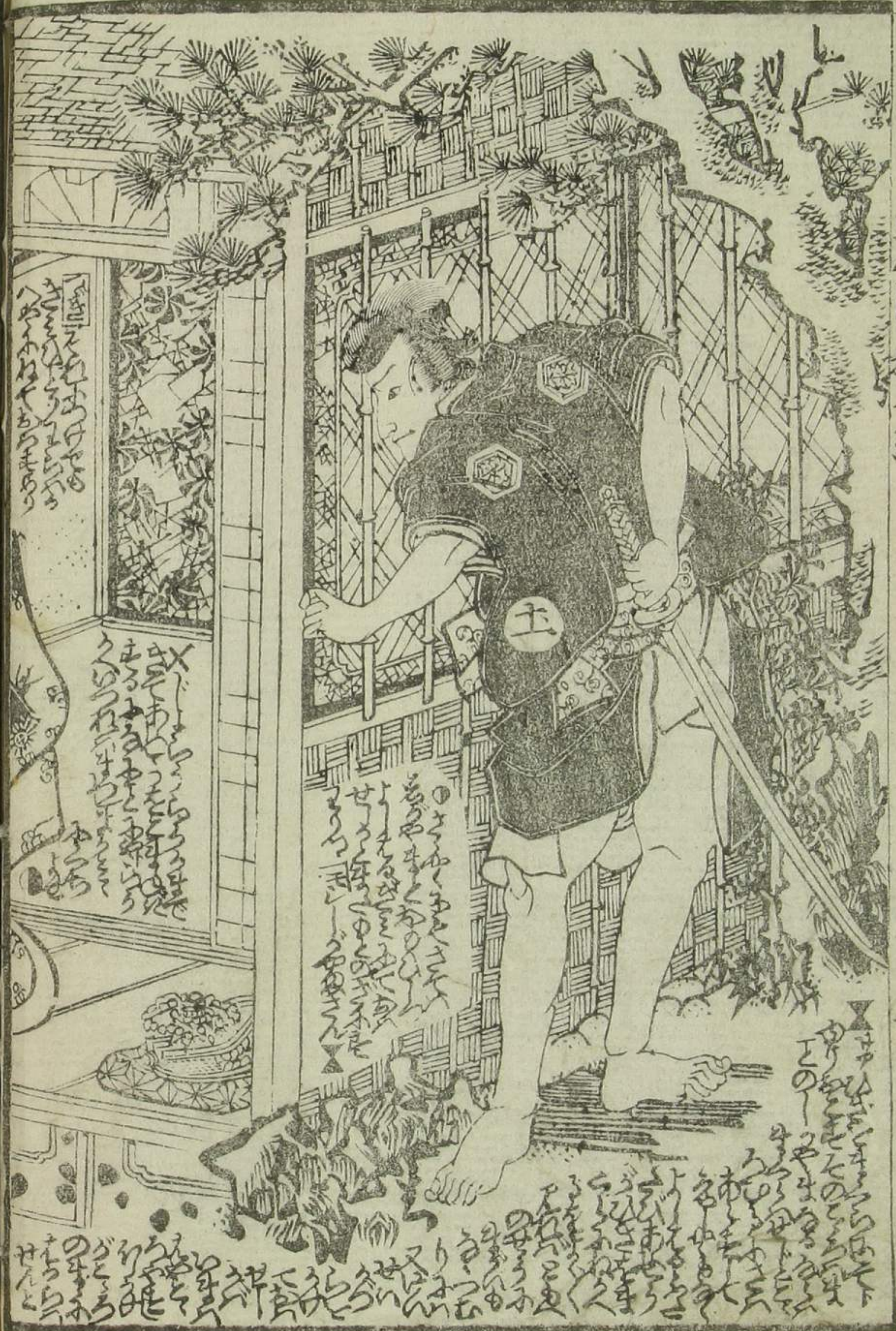
江戸



Vertical columns of Japanese text on the left side of the illustration, likely a narrative or commentary.

辛度
わさ
わさ
わさ

Small vertical text at the bottom right of the illustration, possibly a signature or publisher's mark.



Vertical columns of Japanese text on the left side of the illustration, likely a narrative or commentary.

Vertical columns of Japanese text in the middle of the illustration, likely a narrative or commentary.

Vertical columns of Japanese text on the right side of the illustration, likely a narrative or commentary.

Vertical columns of Japanese text at the bottom of the illustration, likely a narrative or commentary.



法師権十郎の
 居る所にて
 侍従の
 侍に
 言ひ
 給へり

法師権十郎の
 居る所にて
 侍従の
 侍に
 言ひ
 給へり
 法師権十郎の
 居る所にて
 侍従の
 侍に
 言ひ
 給へり



法師権十郎の
 居る所にて
 侍従の
 侍に
 言ひ
 給へり



大車...
 花月夜...
 山...
 花...
 月...
 夜...
 下...
 五...
 冊...

花...
 月...
 夜...
 下...
 五...
 冊...
 花...
 月...
 夜...
 下...
 五...
 冊...



大車...
 花月夜...
 山...
 花...
 月...
 夜...
 下...
 五...
 冊...

花...
 月...
 夜...
 下...
 五...
 冊...
 花...
 月...
 夜...
 下...
 五...
 冊...



Vertical text on the left margin of the top page.

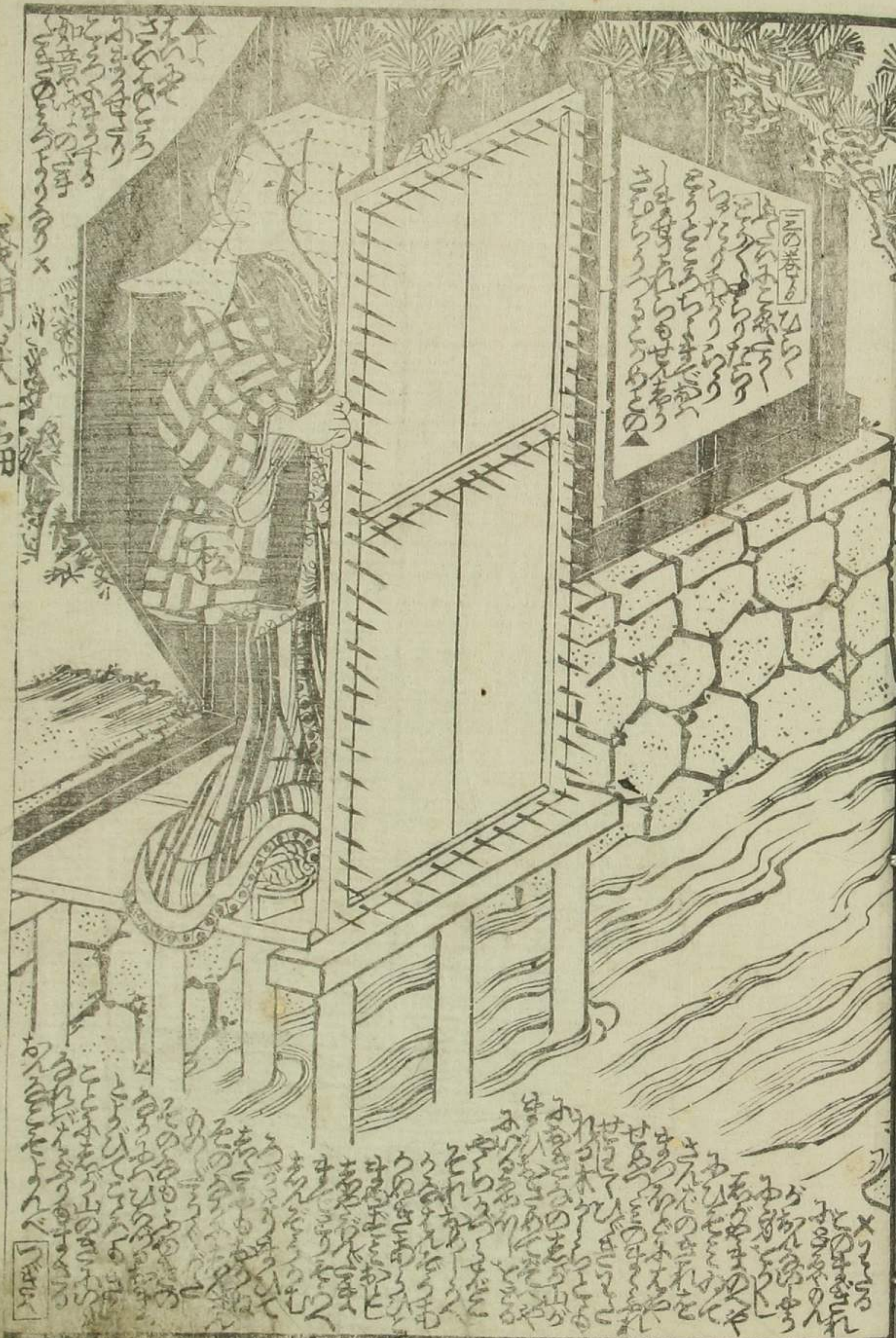
Vertical text on the left margin of the bottom page.



Vertical text on the right margin of the top page.

Vertical text on the right margin of the bottom page.





此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前

此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前

此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前

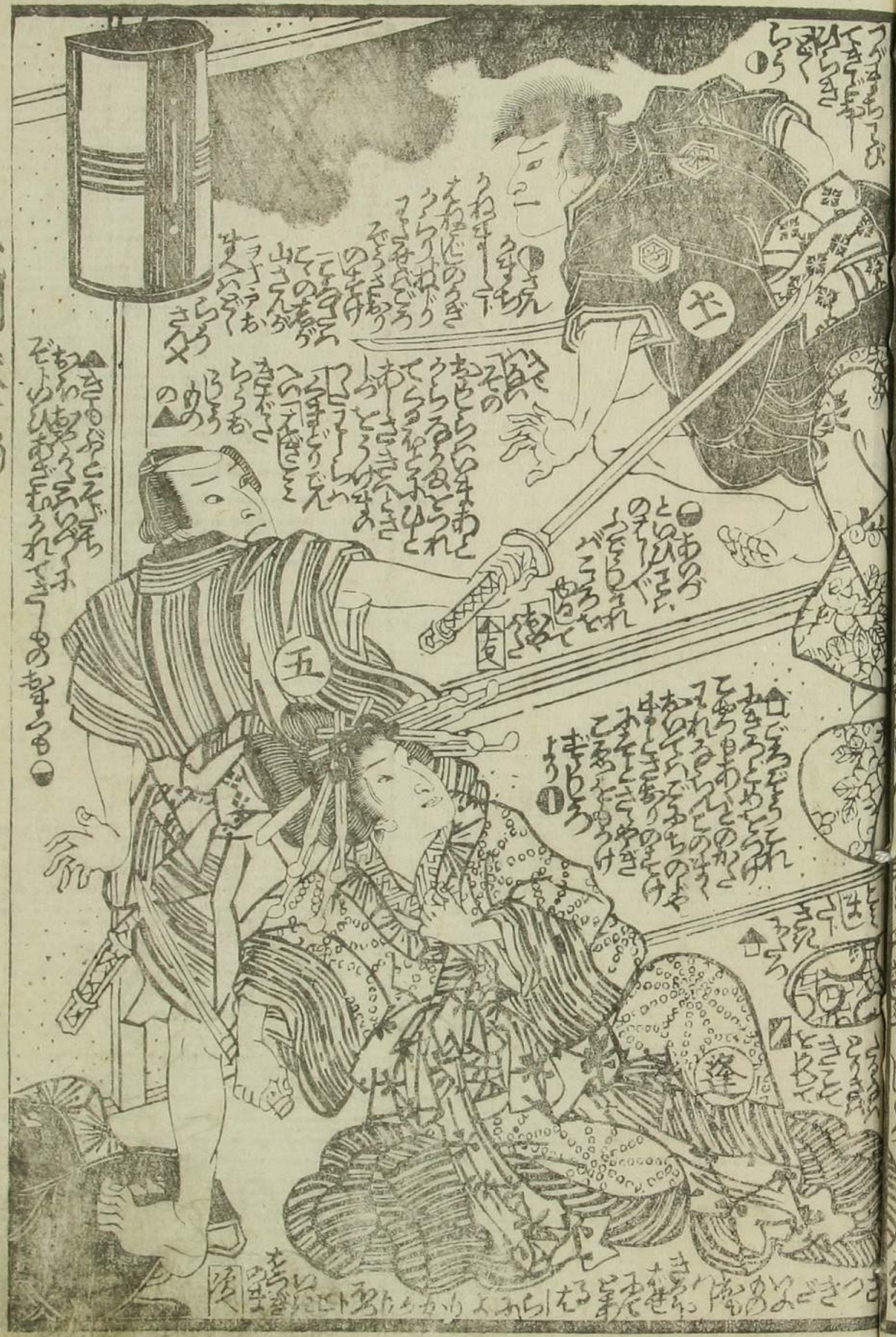
此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前



此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前

此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前

此の女は
 山崎の
 女侍
 御前
 御前
 御前



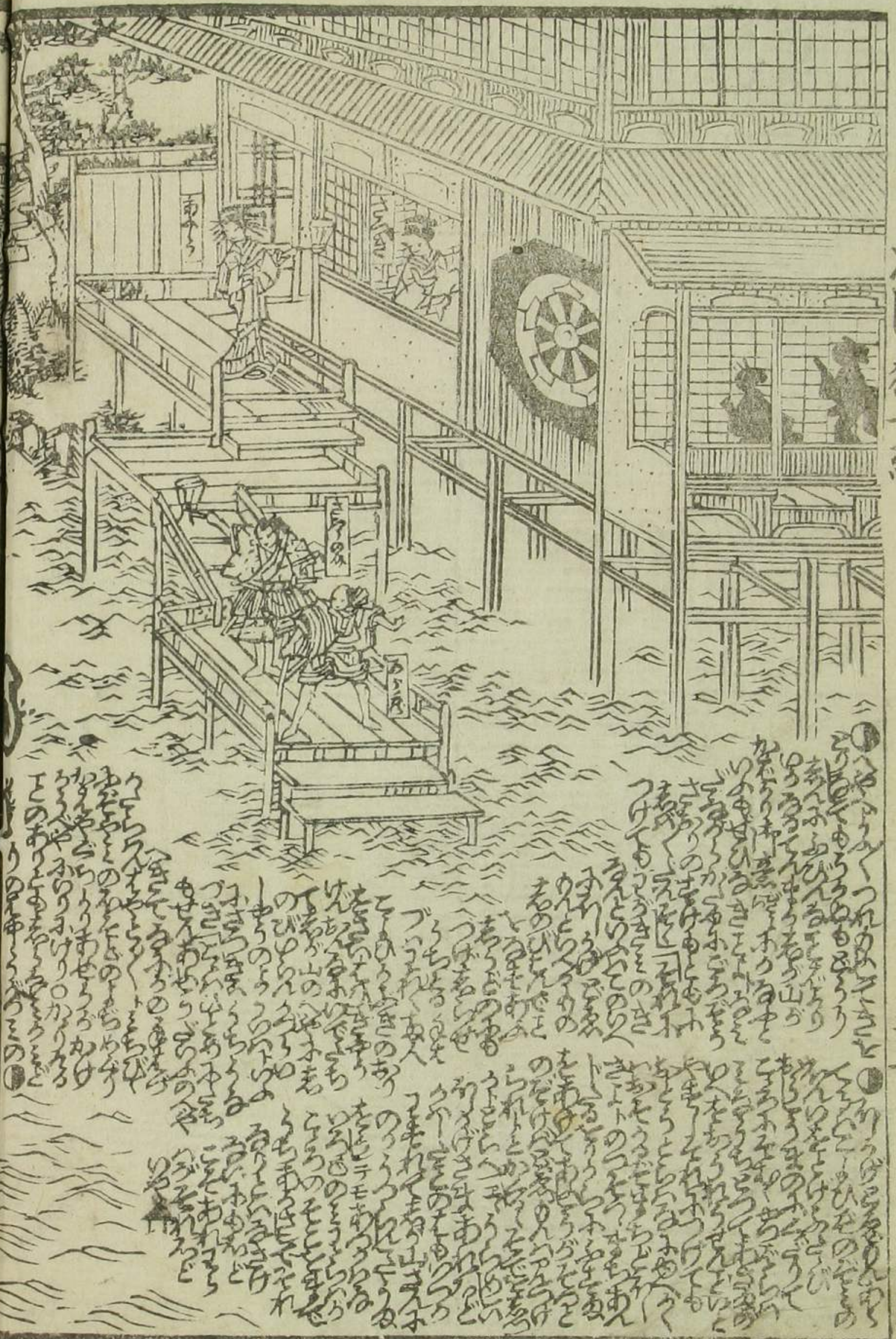
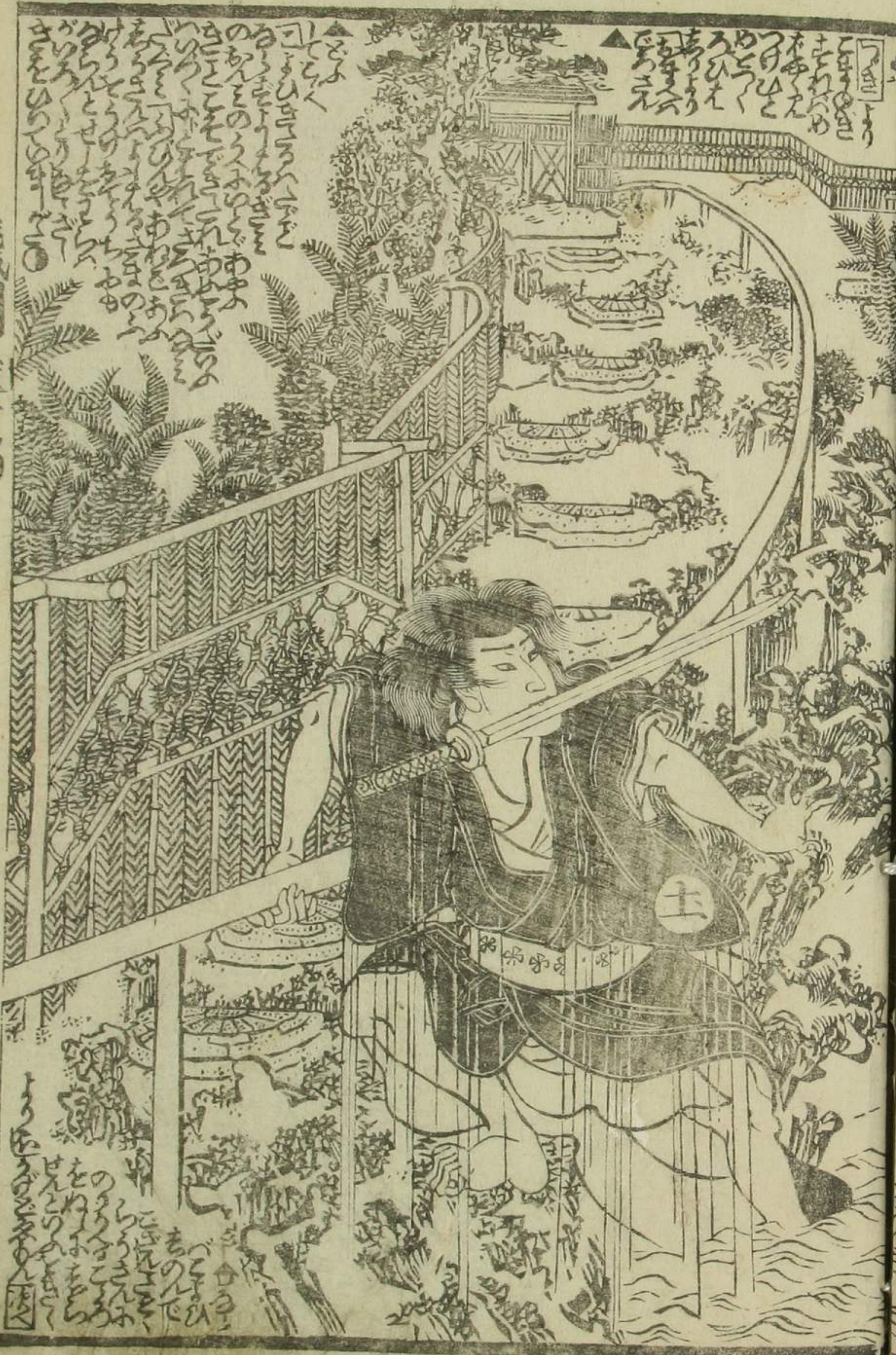
山崎の...
山崎の...
山崎の...

山崎の...

山崎の...
山崎の...
山崎の...

山崎の...
山崎の...
山崎の...

山崎の...



江戸川



注 冊 七 終

廿

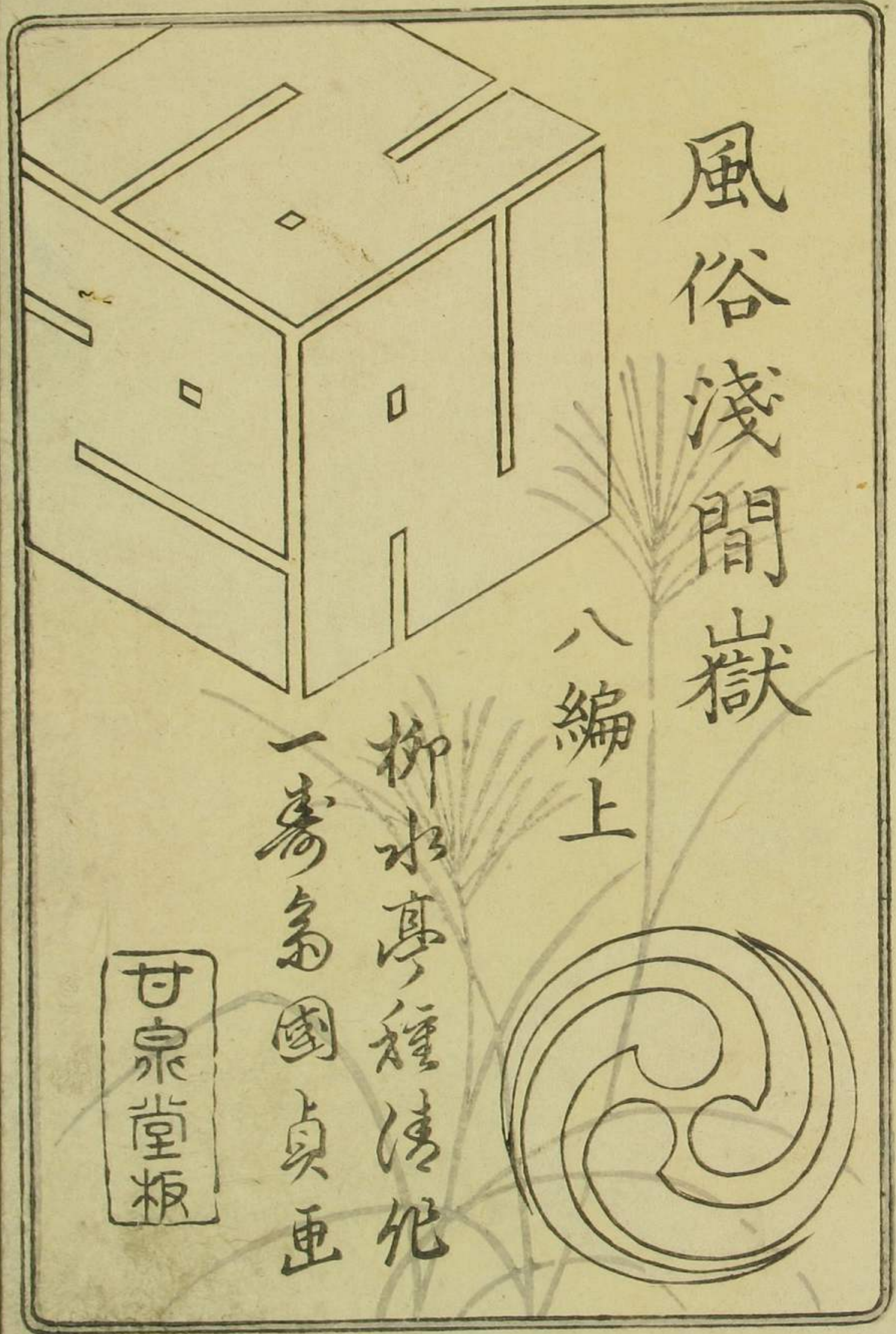
Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of names, surrounding the central illustration. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, surrounding the central illustration. The text is written in a cursive style.



月形七郎 (Tsukigata Ichirō)

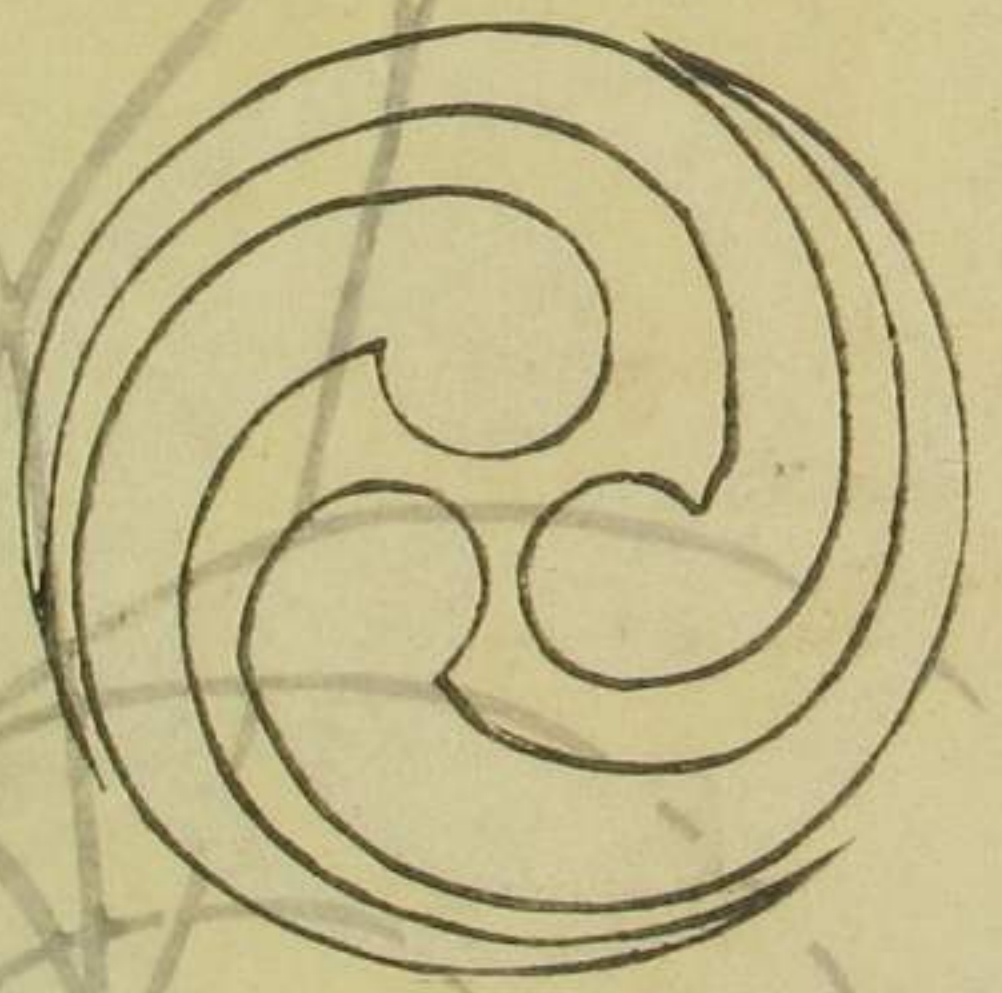


風俗淺間嶽

八編上

柳水亭種清化
一壽多國貞連

甘泉堂板



注開篇七編



作清種亭

水柳

梅蝶樓國貞

淨書青洲

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

知覽
めせ

この末尾の圖と
設ける鬼神阿松が
悪形の鳥銃一發
巴之重が死生
安危八編を



東橋

種清作

因貞画

狂題曲五円白

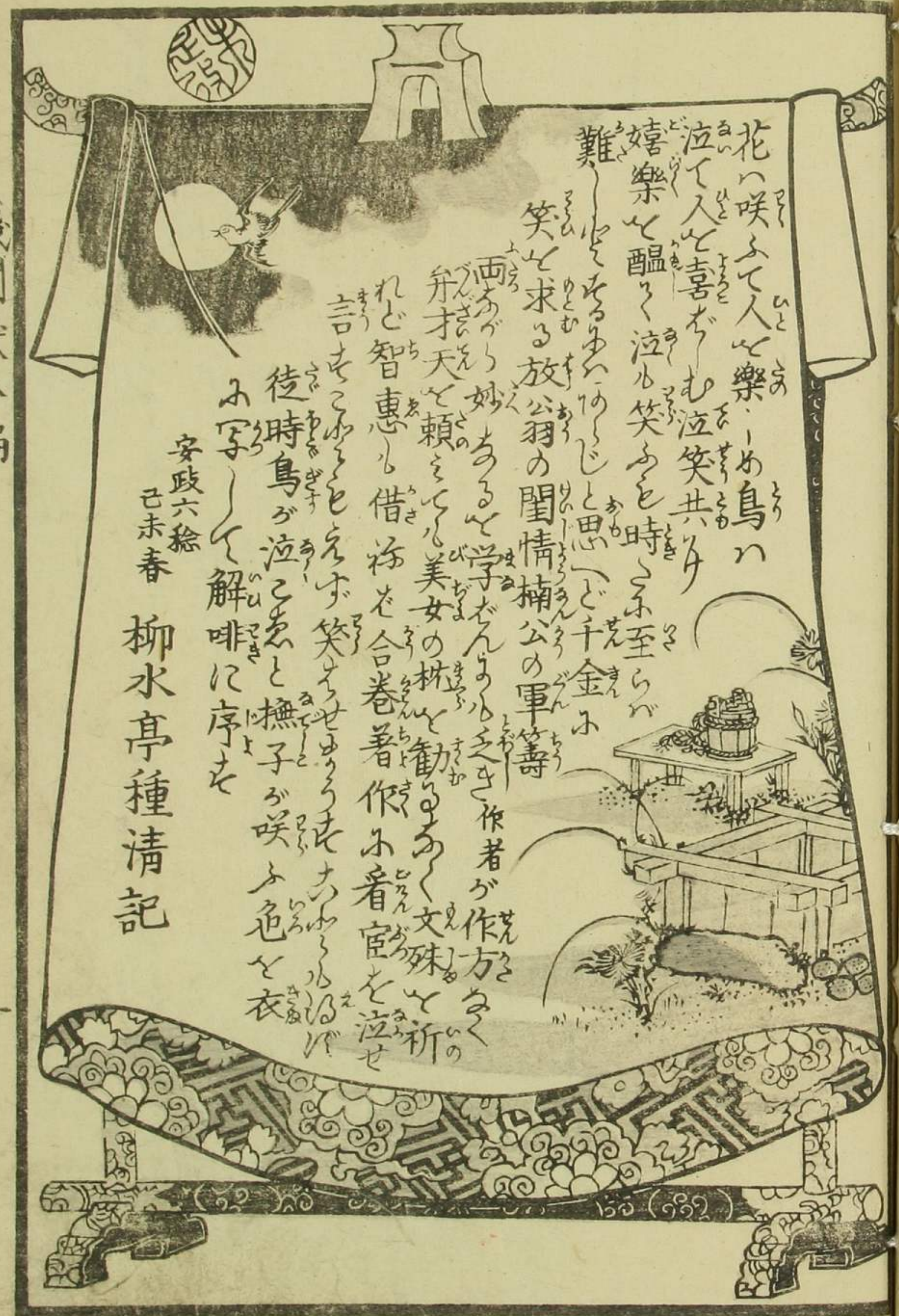
下

風俗浅間嶽編



甘泉堂梓

上



花咲ふて人の樂い鳥の
泣て人の喜ぶむ泣笑共
嬉樂を醞り泣く笑ふと時
難

西の妙あるや学んんる
舟才天を頼るも美女の
れと智慧も借杯を合巻
言をこころと名を笑
後時鳥が泣く名と撫子
小字く解非に序を

安政六繪
己未春
柳水亭種清記

婦有甚之々

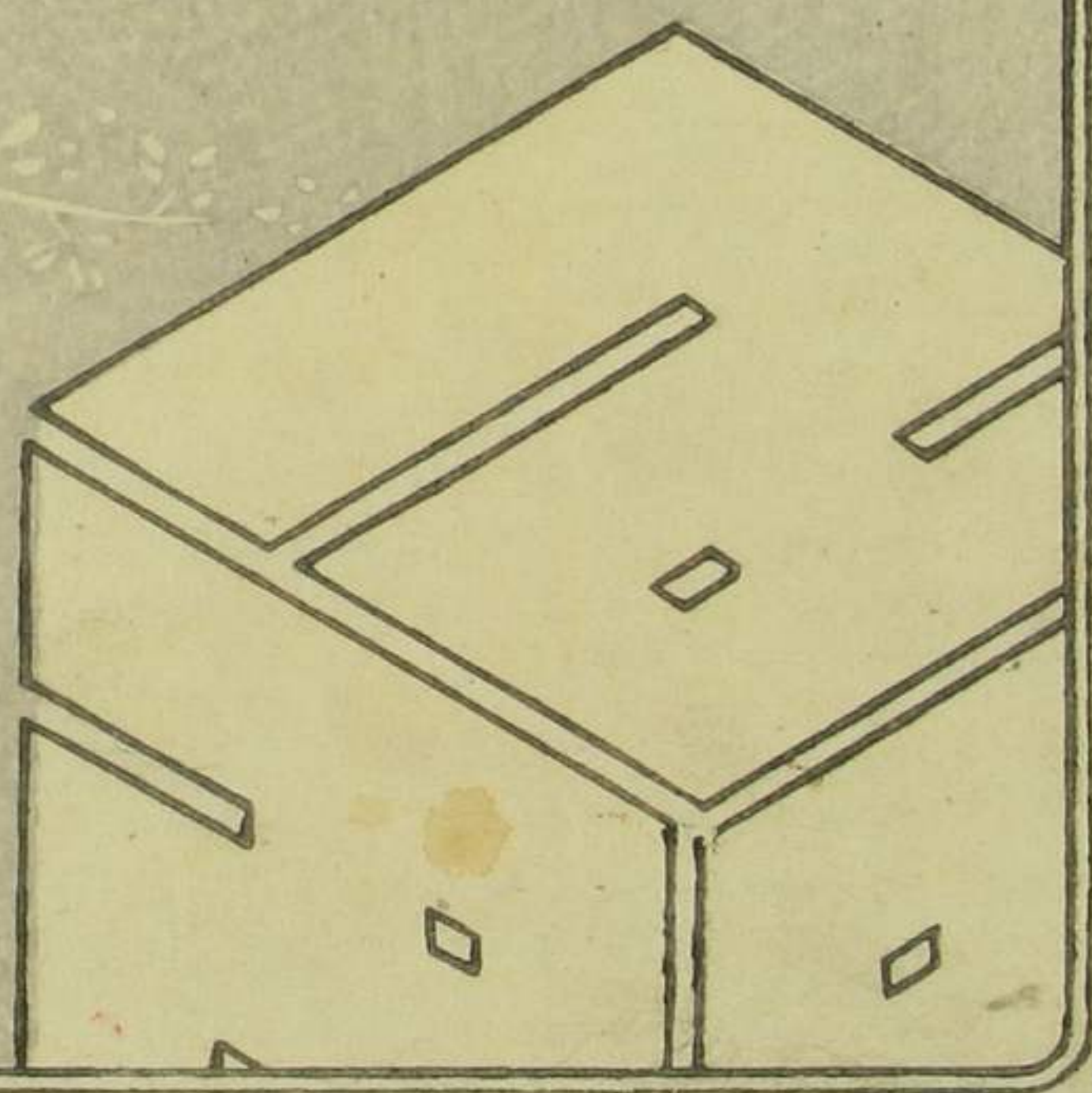
何とて未だ

方々計

八集下

なまじりなまじり

なまじりなまじり





阿不思夜叉

園布金地



鈴鹿の於松

聖枝小織助治清

海門猪ノ糸

逸齋養女寄屋



淺間良治



うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし



きりぎりすのうらたけ
きりぎりすのうらたけ
きりぎりすのうらたけ
きりぎりすのうらたけ
きりぎりすのうらたけ

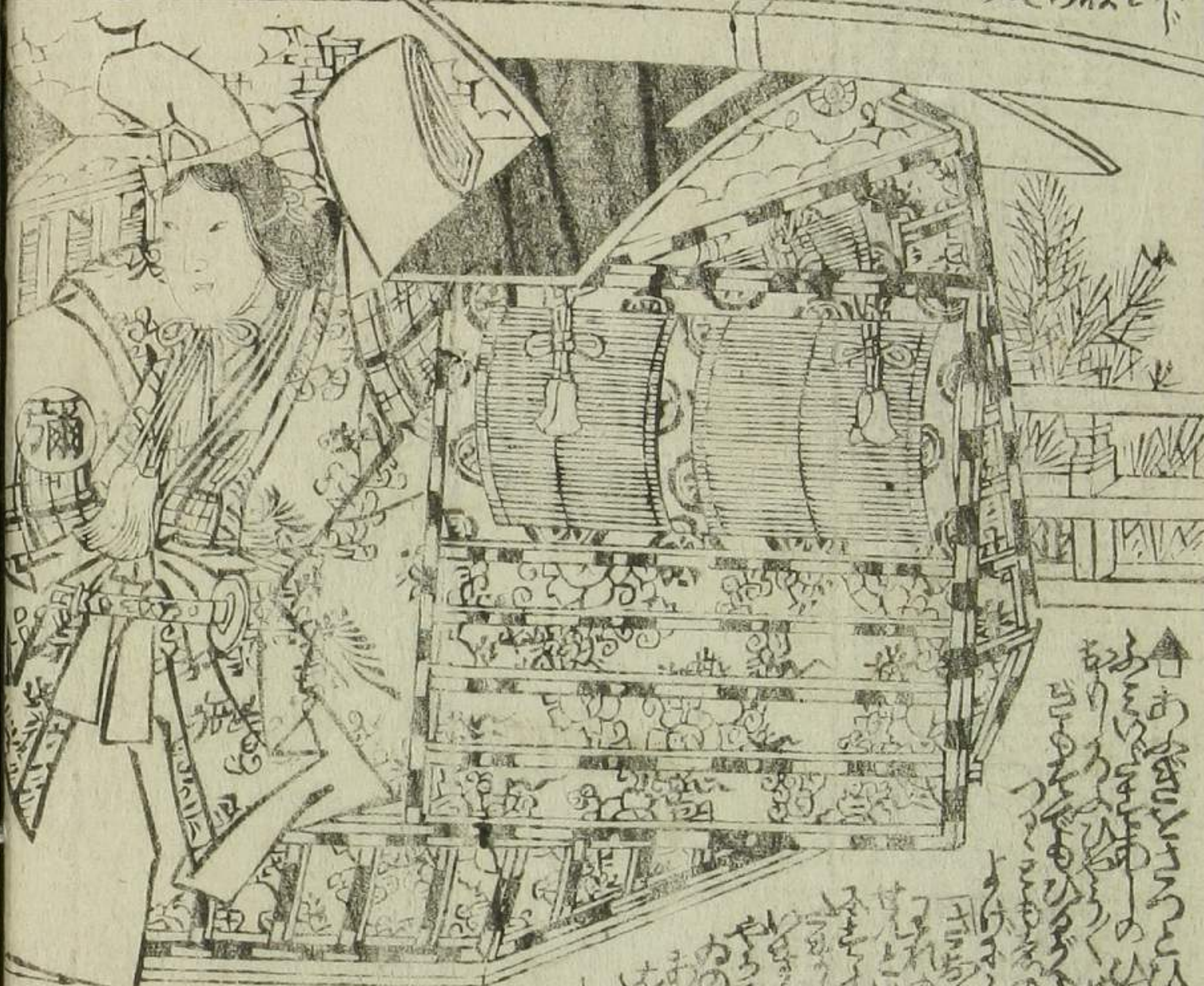
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし

うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし
うきうきとてはなれりしはなれりし

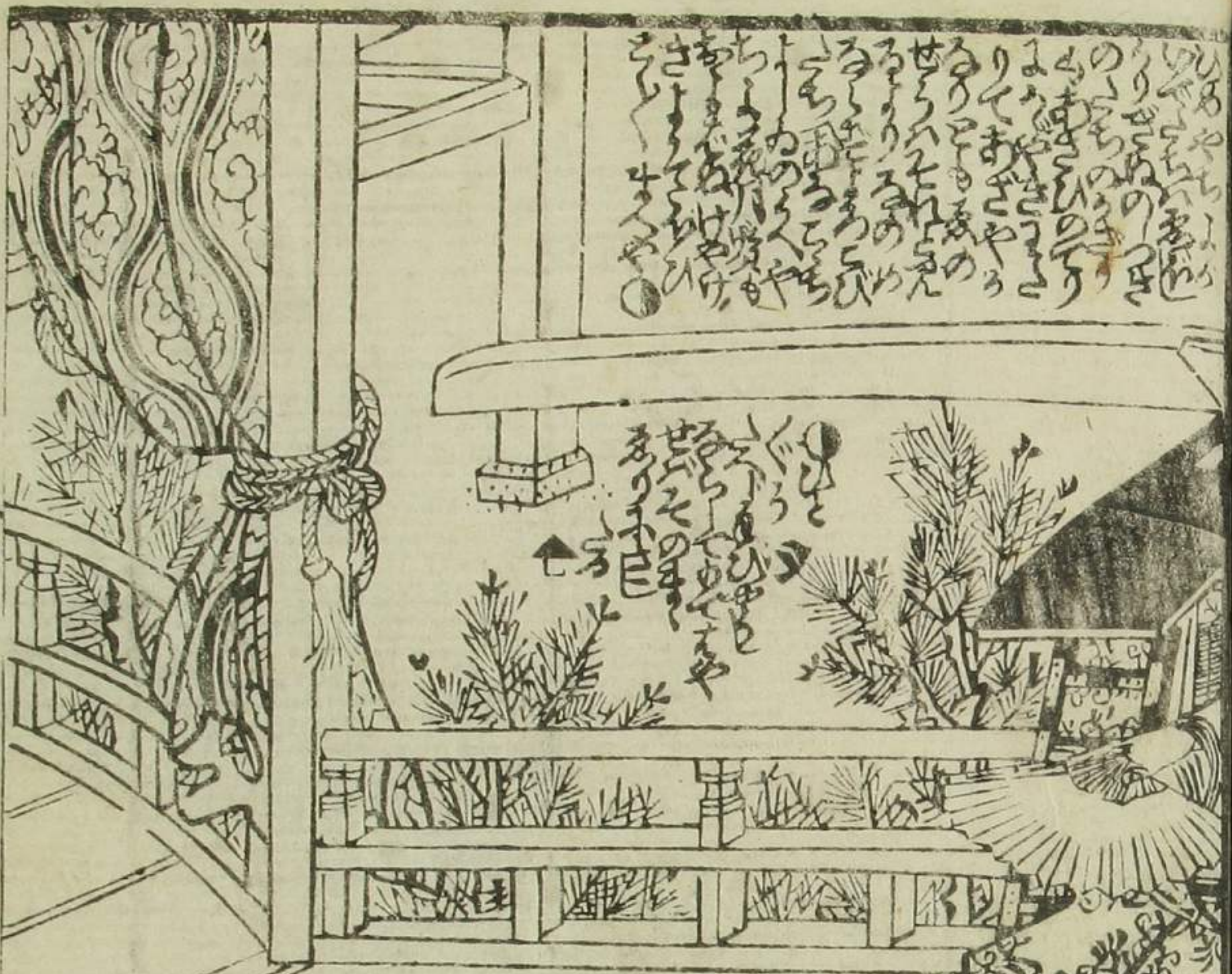


あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし
あはれとてはなれりしはなれりし

ついでに...



あつた...



...

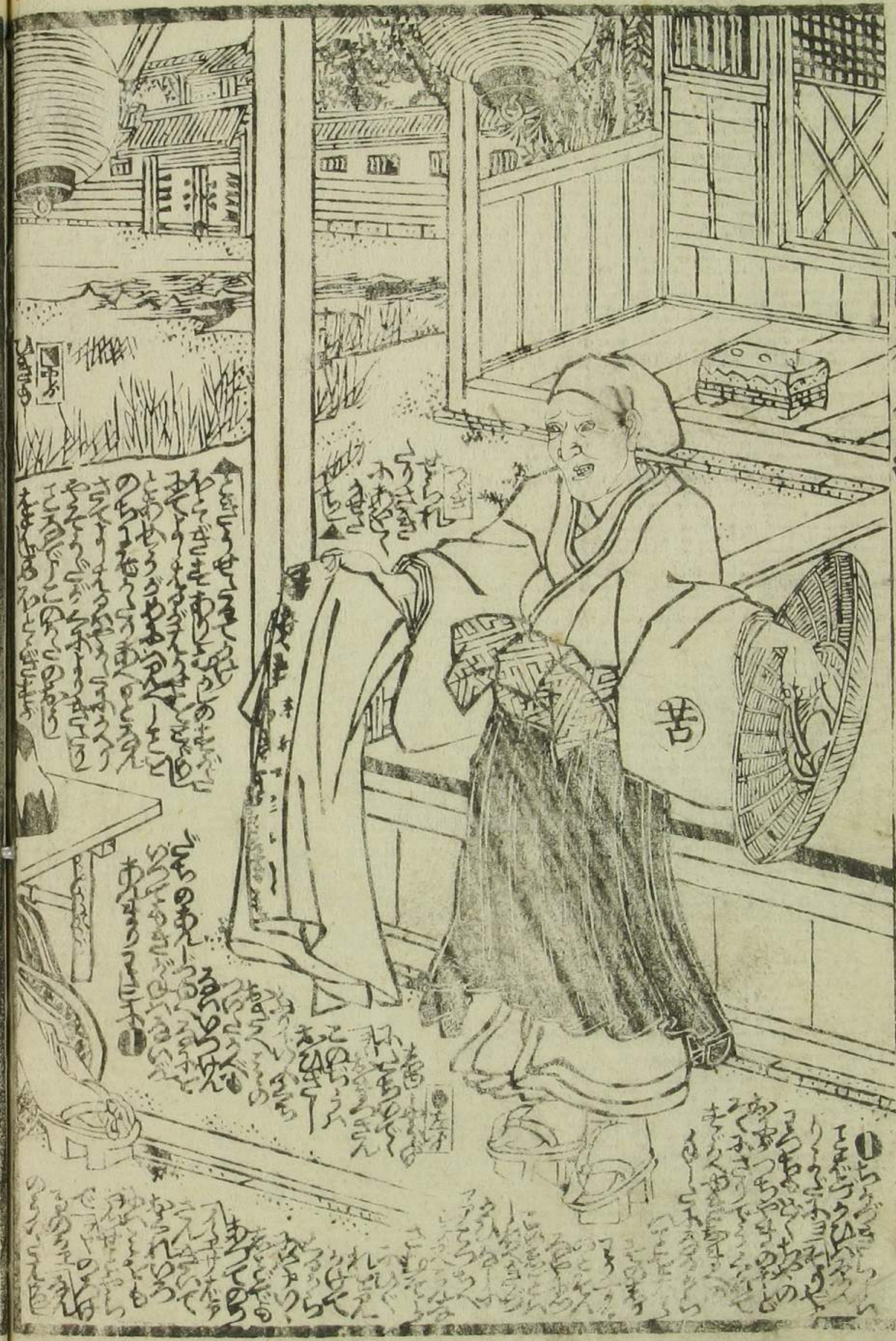
...

幾月夫八編



月用稿ノ終







あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの

あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの



あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの

あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの
あつては
いそいで
きまぬの

延命丸



延命丸の効力
此丸は延命の神薬なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり

延命丸の効力
此丸は延命の神薬なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり

延命丸の効力
此丸は延命の神薬なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり

延命丸の効力
此丸は延命の神薬なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり

延命丸の効力
此丸は延命の神薬なり
凡そ病に罹りて危き時
服すれば即ち蘇生す
其の効力神速なり



素女太印... 小織之助... 緯八九編...

Vertical text columns on the left side of the illustration, including names and dialogue.

Vertical text columns at the bottom of the illustration, including names and dialogue.

種清作國貞画



Vertical text columns on the right side of the illustration, including names and dialogue.

Vertical text columns on the right side of the illustration, including names and dialogue.

Vertical text columns at the bottom of the illustration, including names and dialogue.

洋用稿ノ終



門外漢

鏡



後月入扇

Vertical Japanese text columns in the upper left corner of the illustration.



片間岩、鐘

Vertical Japanese text columns in the lower left corner of the illustration.

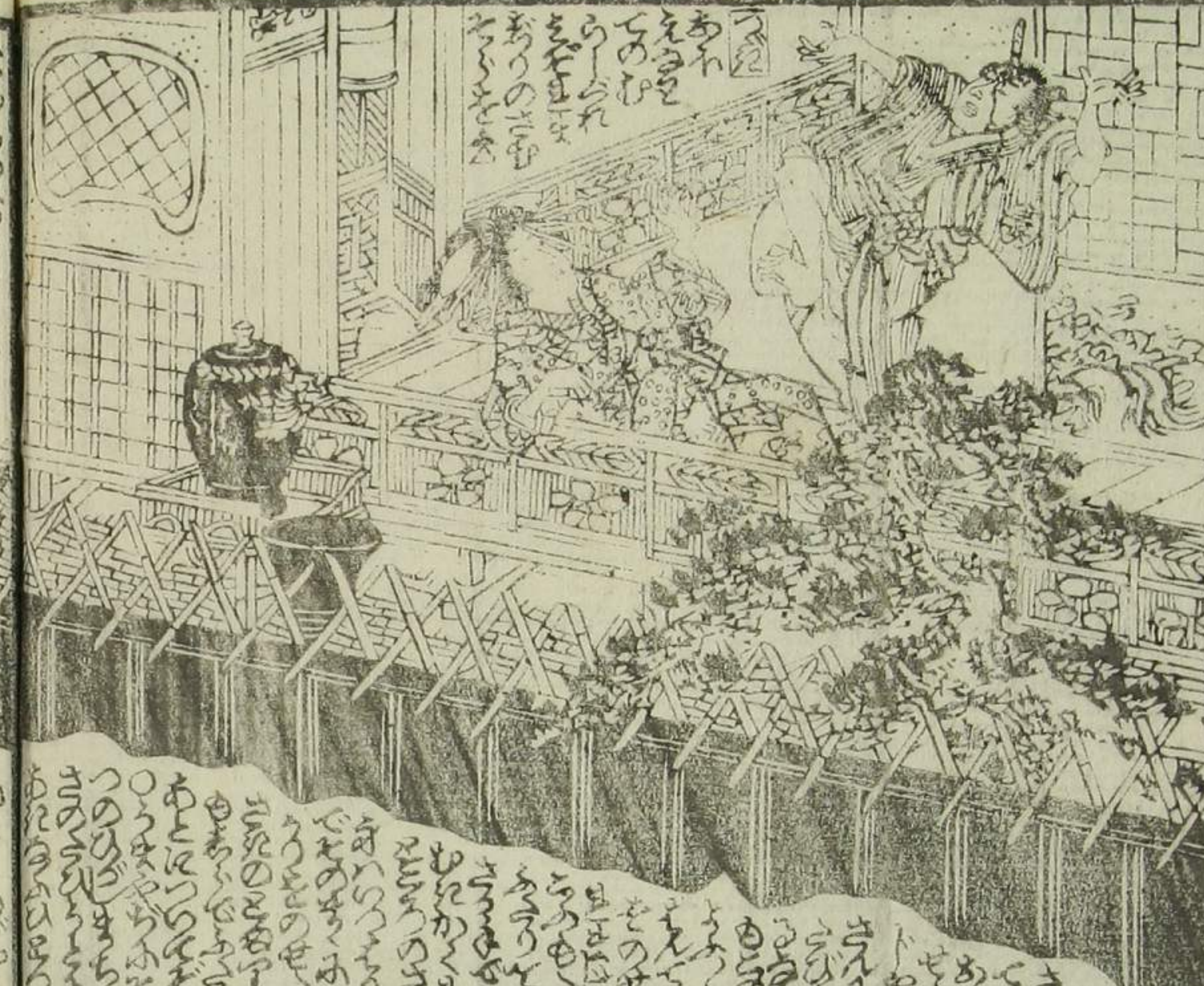
Vertical Japanese text columns in the upper right corner of the illustration.

Vertical Japanese text columns in the lower right corner of the illustration.



此の如くは
 西遊記の
 物語に
 見ゆれば
 此の如く
 なるは
 西遊記の
 物語に
 見ゆれば
 此の如く
 なるは

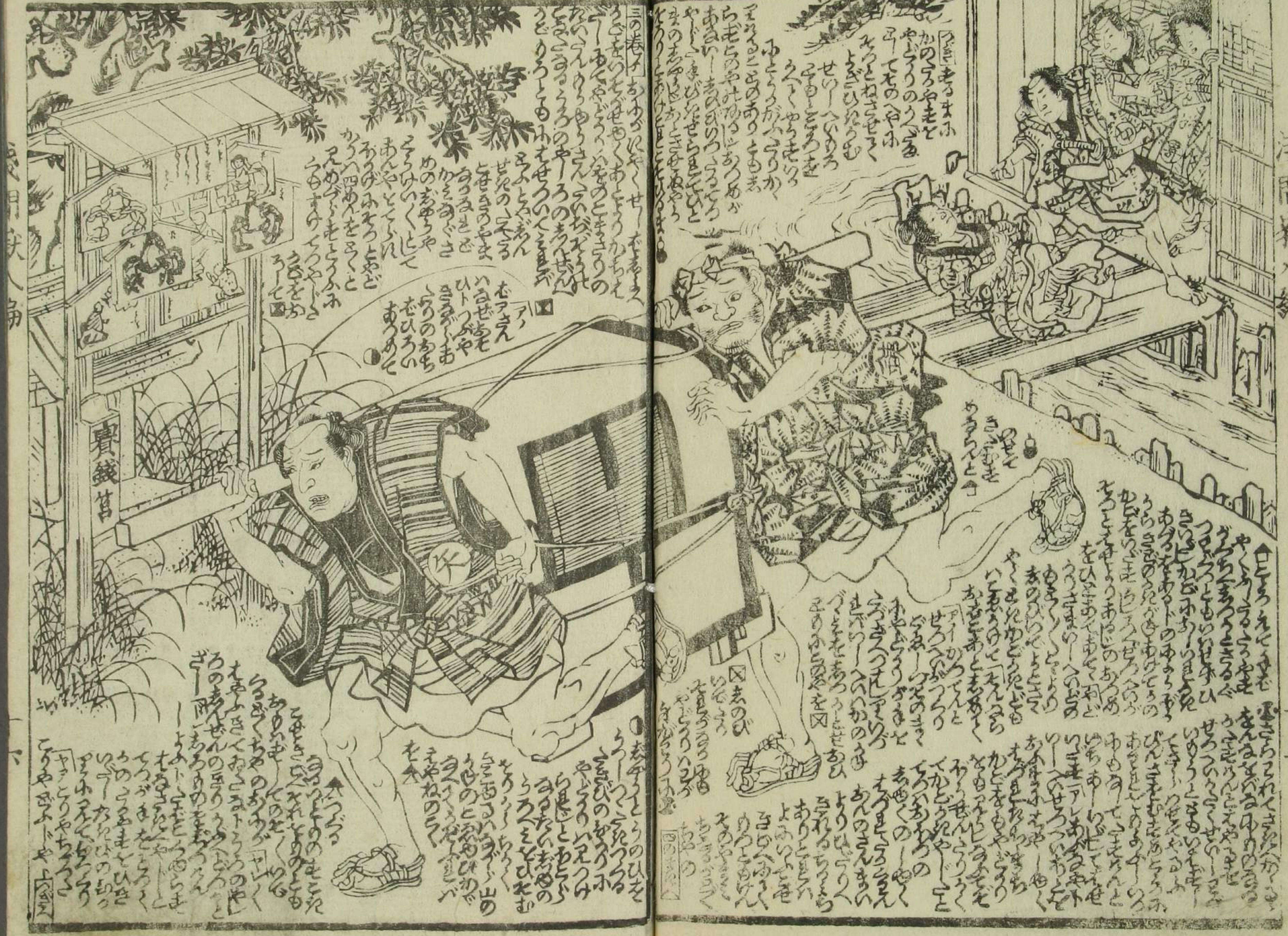
此の如くは
 西遊記の
 物語に
 見ゆれば
 此の如く
 なるは
 西遊記の
 物語に
 見ゆれば
 此の如く
 なるは



此の如くは
 西遊記の
 物語に
 見ゆれば
 此の如く
 なるは
 西遊記の
 物語に
 見ゆれば
 此の如く
 なるは



浅間巻、終



目録



高門の主人



高門の主人

浅間若八

あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて



あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて

あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて
あまのこころをよみて

浅間若八



あやふしき
 おとめさ
 むすめさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ

あやふしき
 おとめさ
 むすめさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ

あやふしき
 おとめさ
 むすめさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ
 せんせいの
 こころさ
 らうらう
 のこころさ
 おんを
 むすめさ
 のこころさ

國貞画

種清作



苦

此の山に於ては...
 毒茶の阿苦...
 谷は於て...
 一屋...
 半...
 備書交来

画 奇川 烟草
 同 芳彦

児雷也毫燦

世六画 世七画
 世八画 世九画
 世十画
 世十一画
 世十二画

妹背山女庭刺

二編より切

種清作
 世六画

不思議塚小説

板水 字種清作
 一 扇 扇 扇 扇
 一 室 扇 扇 扇 扇

坂名子本名匠

二編より切
 同日 月 星 屋 夜 織 分

安政七申春發行 甘泉堂 和泉屋市兵衛板



卅卅卅卅卅
皇皇皇皇皇
卅卅卅卅卅
皇皇皇皇皇

